



あらた  
**新**  
富岡 勝則

皆さんこんにちは。

日頃から体調には人一倍気を遣っているのですが、花冷えの日が続いたせいか、何年かぶりにインフルエンザにかかってしまいました。楽しみにしていた「黒目川花まつり」にも参加できず、とても残念でした。新年度の始まりから1か月が経ち、皆さんも疲れがたまってきている頃だと思いますので、体調には十分気を付けてください。

さて、3月15日に産業文化センターで「これからの朝霞がみえる特別なタベ」と題した市制施行50周年記念日イベントを行いました。本市にゆかりのある著名人の方々からビデオメッセージをいただくなど、大変多くの方々にご協力をいただき無事に終了することができました。当日は、ヴァイオリニストの松本蘭さんのコンサートや写真・切り絵展のほか、1階のギャラリーでレセプションを開催し

ました。この中で、これからも多くの市民の方々に、より一層市への愛着を深めていただくとともに、市内外に朝霞市を発信できるよう、市のキャッチフレーズとロゴデザイン、キャラクターの発表をさせていただきました。キャッチフレーズは「むさしのフロントあさか」で、これは、都市部へのアクセスが良いのに武蔵野のみずみずしい風景や自然環境が保たれているまちを表現しています。そして、キャラクターは、武蔵野の地に咲くタンポポの妖精をイメージしたかわいらしいものです。また、同時に、朝霞市の日常風景を1年半かけて撮影した「むさしのフロントあさか」と、朝霞市を舞台に家族の絆を描いた5編のドラマ「OKAERI」の映像も発表しました。私も作品の完成度の高さに思わず見入ってしまい、特に「OKAERI」の最後にはとても感動しました。市のホームページだけでなく、YouTubeからも視聴できますので、是非ご覧いただき、お友達などにもご紹介いただけたらと思います。

昭和42年の市制施行当時は、人口約5万6千人だった朝霞市が、今では13万7千人を超えるまでになりました。先人達が築きあげてきた「朝霞」を守りながら、住んでみたくなるまち、住んで良かったと思えるまちを目指して、これからもさまざまな施策に取り組んでいきたいと思っています。

では、また。



## 不妊検査および不妊治療を行った方に対する助成金を交付します

申・問／健康づくり課 ☎465-8611

**対象(不妊検査助成)**／夫婦がともに不妊検査を開始した場合で、不妊検査開始時の妻年齢が43歳未満の夫婦

**助成対象**／夫婦がともに受けた不妊症の診断のための検査に係る費用(1回限り) **助成額**／上限2万円

**対象(不妊治療助成)**／特定不妊治療に伴い、埼玉県(県内指定都市等)不妊治療費助成事業の初回助成を受け、治療開始時の妻年齢が35歳未満の夫婦 **助成対象**／特定不妊治療に伴う埼玉県(県内指定都市等)不妊治療費助成事業の初回助成に上乗せ助成(1回限り) **助成額**／上限10万円

**申込方法**／健康づくり課窓口または市ホームページにある下記申請書および添付書類を健康づくり課へ提出

- ・朝霞市早期不妊検査助成費交付申請書または朝霞市早期不妊治療助成費交付申請書(申請者が押印したもの)
- ・朝霞市早期不妊検査助成費交付に係る実施証明書(不妊検査助成の場合)
- ・埼玉県(県内指定都市等)不妊治療費助成事業助成金支給決定通知書および埼玉県(県内指定都市等)不妊治療費助成事業不妊治療実施証明書の写し(不妊治療助成の場合)
- ・領収書原本
- ・住民票(原本)(世帯全員および続柄記載・マイナンバーの記載のないもの・発行から3か月以内)

※婚姻関係が確認できない場合は、戸籍謄本が必要となります。

- ・助成金の振り込みを希望する金融機関の口座名義および口座番号がわかるものの写し

※提出された書類は原則返却しません。

**申請期間**／不妊検査または不妊治療の終期の属する年度内(3月31日まで)

※ただし、当該年度の2月1日から3月31日までに不妊検査または不妊治療が終了した方については、翌年度5月31日まで。



### ひとの推移

人口 13万7,271人(+248人) 男 6万9,425人(+27人) 女 6万7,846人(+221人)  
世帯数 6万3,135世帯(+372世帯) 平成29年4月1日現在( )内は前月比